

# ICT 教材・機器 活用事例

学部	高等部	学年等	グループ	教科	作業(縫製)
授業名(単元名)	作品展での販売準備をしよう				
活用した場面	一斉学習		個別学習		協働学習

## 1. 使用した ICT 教材・機器および使用した理由・方法

### ①1人1台 iPad の“カメラ” app

作品展における製品販売時に使用する“即売レジ” (レジアプリ) に登録する製品画像の撮影。  
Airdrop 機能を活用することで、複数で協力して画像を加工(文字入れ・トリミング)したりすることができる。

### ②“即売レジ” app (iPad)

作品展における製品販売時に使用。別グループが撮影した写真データを、Airdrop を活用して集約し、レジの設定を実施。  
製品の視覚情報が入り、分かりやすいレジの設定ができる。

### ③電子黒板

AppleTV を活用し、各々が設定したデータを映し出して内容を確認することができる。

## 2. ICT 教材・機器を活用した活動場面

活動内容	指導上の留意点	準備物
○1人1台 iPad の“カメラ” app で製品を撮影する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品を1つずつ確認し、何の製品なのか分かりやすくなるように支援する。</li> <li>・光の入り方を見ながら、背景の色など意識しながら撮影できるように支援する。</li> </ul>	①“カメラ” app (1人1台 iPad) ・撮影用の生地等
○“即売レジ” app の設定をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影された写真データを随時、Airdrop を活用して受信するよう言葉かけをする。</li> <li>・製品の数を確認し、“即売レジ”への追加が終了したものから写真にペンで書き入れて、重複しないように支援する。</li> <li>・値段を確認しながら、製品名を分かりやすく入力できるよう支援する。</li> </ul>	②“即売レジ” app (iPad)
○電子黒板で共有する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループが作成したデータを AppleTV で共有し、作品展時の販売手順を確認する。</li> <li>・電子黒板に注目するよう言葉かけをする。</li> </ul>	③電子黒板

### 3. 活用の成果

- ・6月の校内実習で“即売レジ” app を1度試用していたこともあり、app の使用方法を知っている生徒がいたことで、1年生から3年生までコミュニケーションをとりながらセットアップを行うことができた。また app に登録したデータは、他の端末と共有することができたので、分担しながら同時に作業を進めることができた。
- ・“即売レジ” app の入力以外にも、製品の数を数えたり、製品の撮影・画像の編集を実施したりと、それぞれが役割を分担して作業することで、自分たちの作業が“即売レジ” app に集約されていくのが見て分かることから、販売のモチベーションアップにつながった。
- ・接客に対して苦手意識のあった生徒も、製品の視覚情報が iPad の画面に表示されているため、自信を持って接客することができた。